

2022年7月21日

2022年度後期授業方針について

学長 田中 悟

本学では、2022年度前期の授業方針として、原則全ての授業をハイブリッド形式で実施し、新型コロナウイルス感染症による出席停止学生や感染経路不明者が多い地域に居住する学生、新型コロナウイルスに関わる様々な事情で来学が叶わない（または来学を希望しない）学生については、オンライン授業（同時双方向型/オンデマンド型）を受講することができることとまいりました。

そのなかで、6月からは感染症基本的対処方針等の更新や水際対策に係る措置の緩和などの状況に鑑み、海外留学については留学期間制限を撤廃するなど、これまでと異なる方針で、ウイズ・コロナの大学生活を模索してまいりました。2年半にわたるコロナ禍の経験を通じて、私たちはオンラインや対面の長所や短所を学んできましたが、とりわけキャンパスにおける学生間や教職員・学生間の交流が私たちの想像以上に重要な意義を持つものであることが明らかになりつつあります。実際、こうした観点に立って、文部科学省からも各大学に対して、「大学等における学修の充実を図るためには、多様な人々の関わる授業や、少人数のグループワークによる質の高い学修など、相互に切磋琢磨することのできる環境を整備することが重要であり、その土台として、学生の円滑なコミュニケーションを促していくことが求められます。」（文部科学省高等教育局高等教育企画課「令和4年度の大学等における学修者本位の授業の実施と新型コロナウイルス感染症への対策の徹底等に係る留意事項について（周知）」（令和4年3月22日））との通知が発出されております。

こうした状況を踏まえ、本学では主に対面での学びを進めることの意義を考慮した結果、2022年度後期授業に関しては、これまで以上に新型コロナウイルス感染症の感染リスクを小さくする努力を行いながら、学生の皆さんに対しては原則対面での出席を求めるという結論に至りました。

具体的には、2022年度後期の授業は、感染防止対策を継続しながら、可能な限り対面で実施することを基本方針とします。ただし、新型コロナウイルスの感染リスクが高い等の真にやむを得ない事情がある学生については、大学への申請に基づき、オンライン受講を許可する制度を設けます。また、前期と同様に一部の科目は対面授業を実施せず、オンラインでのみ実施することがあります。

現在、新型コロナウイルスの感染者数が急激に再拡大の傾向にあることを鑑み、感染状況の変化によっては、授業の実施形態を変更する方針に切り替える可能性もあります。その場合はホームページやGAIDAI PASS等で速やかにお知らせいたします。

皆さんが健やかに夏季休暇を過ごされ、後期たくさんの学生さんにキャンパスでお会いできることを楽しみにしています。